

第2回吉野町小中一貫教育校開校検討委員会 議事要旨

日 時	令和2年10月28日（水）午後7時～午後8時
場 所	吉野町中央公民館 大ホール
出席者	別紙名簿のとおり

1. 開会
2. 教育長挨拶
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回開校検討委員会を7月21日に開催させていただいて3カ月間、季節も変わった。この間各所属で第1回の内容について、協議、意見集約をしていただいた。 ・ 子どもたちに学校名を募集したが、子どもの吉野への想いが強くあると感じることができた。開校検討委員会のご意見により、このような素晴らしい機会をいただけたと感じている。 ・ 小中一貫教育推進委員会を別に組織しており、グランドデザインの検討も進めており、骨子ができてきている。 ・ ICT部会では、GIGAスクール構想の実現に向けて1人1台のタブレットPCの配布を完了し、活用について検討を進めており、先日新聞にも活用例を取り上げていただいた。 ・ 図書部会では、新校舎の目玉でもあるメディアルームの活用、図書システムの選定等を進めている。 ・ 備品部会では、新校舎の新備品等を検討し、来年度の予算計上に向けて検討を進めている。 ・ 今回は、次第にあるとおりの審議事項について慎重審議をいただきたい。
3. 委員長挨拶
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍であるため、挨拶は省略し、早速審議に入りたい。短時間で終了したいと考えているため、ご協力をお願いする。
4. 審議案件
(1) 「校名」について
<p>(委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新小学校の名称について、各所属で意見を伺っていただきたいと前回会議で依頼した。各所属のご意見をお聞かせいただきたい。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役員会で話し合った。「吉野小学校」が適していると一致した。理由としては、町に一つの学校であること、対外的にわかりやすい点があげられた。それらの理由で「吉野小学校」が妥当と考えている。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役員会で話し合った。もともと「吉野小学校」に通っている校区であり、町で一つの小学校になるため、「吉野小学校」でまとまった。 <p>(委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のご意見がなければ、新しい小学校の名称について、本委員会としては「吉野小学

校」で決定したいと思うので、ご理解いただきたい。

→全委員意義なく承認。

(委員長)

- ・小中一貫教育校の名称について、前回の委員会のご意見を踏まえて、子どもたちにアンケートを実施している。結果等について、事務局より報告、提案をお願いします。

(事務局)

- ・「資料1」により説明。
- ・子どもたちの意見を踏まえて、「吉野さくら学園」及び「吉野桜学園」の2案を提案させていただく。

(委員長)

- ・吉野といえば桜、桜といえば吉野といつも挨拶に使っている。今、事務局から漢字の「桜」とひらがなの「さくら」の提案があった。どちらにするか検討する。ご意見いただきたい。

(委員)

- ・見た感じのバランス等も考慮し、ひらがなの「さくら」が良いのではないか。

(委員長)

- ・ご意見が他にないようでしたら、本委員会としては「吉野さくら学園」に決定したい。ご承認いただくことでよろしいか。

→全委員意義なく承認。

(2) 「校歌」について

(委員長)

- ・校歌について、審議いただきたい。事務局から提案、説明をお願いします。

(事務局)

- ・「資料2」により、説明。小中一貫教育校の校歌を一つとし、吉野中学校の校歌を継承してはどうかと考えている。ご審議をお願いしたい。

(委員長)

- ・事務局から、小中一貫教育校の校歌を一つとし、中学校の校歌を歌っていけないかの提案があった。
- ・中学校の校歌は、町の多くの人々に親しまれてきた。小学生でもスムーズに歌うことができるか。校長先生方にもご意見をお願いしたい。

(委員)

- ・2つの観点から賛成の意見。一つは、現在、吉野町にお住まいの方、既に町から出ていかれた方、それぞれにとって唯一の校歌は吉野中学校の校歌である。すべての方が思い出すのは、中学校の校歌ではないか。この校歌がなくなると町から気持ちが離れていくのではないか。
- ・もう一つは、中学校の校歌の歌詞は難しいと思うが、小学校の校歌の歌詞を小学1・2年生が理解して歌っているわけではない。例えば、小学校を卒業していくときに校歌の意味などを下級生に教えていくなど、ふるさと学習としていくこともできるのではないか。以上の点から賛成。

(委員)

- ・吉野中学校の校歌の歌詞は非常に良いものであるが、中学生でも歌詞は理解できないところもある。
- ・これから一つの学校になっていくが、地域の支えが必要。町の多くの方が吉野中学校を卒業されており、1つの校歌を歌い続けることは非常に意義がある。
- ・地域の方から、中学校の校歌をなくさないでほしいとの声も聴いている。先生方にも意見を聞いたが、同様の意見であった。小中一貫教育校の校歌について、中学校の校歌一つにしていくことを強く希望する。
- ・また、もし、新たな小学校の校歌を決めるとなれば、現在の小学4年生は、小中一貫教育校の開校年度の令和4年の1年間のみのために新校歌を覚えなければならなくなる。小学校の校歌は現在の校歌で終わり、新しい学校では、新しく中学校の校歌を覚えていくことで、うまく引き継いでいけるのではないか。

(委員)

- ・中学校校歌を残すことについて賛成。学校内で意見を聞き、言葉は難しいかもしれないが、小学生でも歌いやすいとの意見だった。

(委員長)

- ・本委員会としては、吉野中学校の校歌を吉野さくら学園、小中学校の校歌として一本化することで決定することとしてよろしいか。

→全委員意義なく承認。

(3) 次回開催について

(事務局)

- ・来年の1月下旬を予定させていただく。
- ・審議案件の一つは、校章について。現在の3校ほどの学校も桜をモチーフにした校章となっている。小中一貫校では1つの校章にしていくことを想定している。各所属でも協議していただき、事務局までご意見をいただければ参考にさせていただく。
- ・もう一つの案件は、通学方法について。また、次回以降には、PTA 組織、制服等についても協議していく。

(委員長)

- ・次回の協議事項について、校章については、1つか2つのデザイン案を出していただき、吉野さくら学園で1つの校章で検討していくとのことか。

(事務局)

- ・ご提案させていただく。

(委員長)

- ・各所属で持ち帰り、意見集約をしていただいて、次回会議にもってきてください。

(4) その他

(事務局)

- ・別紙「吉野町小中一貫教育校開校検討委員会組織図」をもとに説明。
- ・今後協議を予定しているPTA 組織、制服、通学方法については、専門部会を設置し、検討していただいたうえで、開校検討委員会にあげてもらうことを想定している。

(委員長)

- ・専門部会で検討、審議して、開校検討委員会で承認する流れになるとのこと。いかがでしょうか。

→全委員意義なく承認。

(事務局)

- ・専門部会の中に役員会を設け、役員会で協議テーマについての素案を作成し、専門部会全体会にお諮りし、開校検討委員会に上げる形になる。

(委員長)

- ・3ステップで決めていくという案になる。ご理解とご承認をお願いします。

(委員)

- ・吉野中学校の校歌の審議で思い出したが、中学校には「道」という応援歌がある。入学式、卒業式等の式典で歌われている。思い入れの深いものであり、どういう位置づけになっていくか。個人的には残していただきたいと考えている。検討していただきたい。

(委員長)

- ・数年前に作られたと認識している。小中一貫教育校でどう活用していくか。先生方、PTA で検討していただけるか。学校でどう位置づけるのか、検討をお願いします。

5. 閉会挨拶 (副委員長)

(副委員長)

- ・新しい学校の開校に向けて検討していくことについて、子どもたちのために今後ともご協力をお願いします。
- ・町内小中学校で運動会、体育祭を開催していただいた。短時間での準備など大変なこともあったと思うが、子どもたちの姿がたくましく感じ、すばらしい運動会だった。吉中ソーラン、体育祭の運営、仕方等を上級生が下級生に教えており、これから小中一貫教育を目指すうえでも、今年の体育祭の開催した意義は深かったのではないかと。吉野の伝統、想いを次の世代につないでいく。皆さんとともに進めていきたい。よろしくをお願いします。